

# 木更津市役所からのお願い

お問合せ先: 市民税課 特別徴収担当  
Tel.0438-23-8571

## 特に注意していただきたい事項

※番号は右の記載方法に対応しています。

⑤ 給与支払報告書(個人別明細書)

<p>令和5年1月1日現在の住民登録上のものを記入してください。フリガナを必ず記入し、名字と名前は1マス空けてください。</p>										<p>源泉所得税及び復興特別所得税の合計額を記入してください。</p>																	
住所										(受給者番号)(個人番号)																	
氏名										氏名(フリガナ)																	
種別		支払金額				給与所得控除後の金額(調整控除後)				所得控除の額の合計額				源泉徴収税額													
		千円				千円				千円				千円													
(源泉)控除対象配偶者の有無等 有 従有		配偶者(特別)控除の額 千円				控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。) 特定 老人 その他 人 従人 人 従人 人 従人				16歳未満扶養親族の数 人				障害者の数(本人を除く。) 特別 その他 人 人				非居住者である親族の数 人									
5		9												8													
社会保険料等の金額				生命保険料の控除額				地震保険料の控除額				住宅借入金等特別控除の額															
千円				千円				千円				千円															
(摘要) 小規模共済掛金がある場合の書き方 (例) 社会保険料等の金額 内書き → 500,000 合計 → 1,000,000														※同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合、摘要欄に当該同一生計配偶者の氏名及び「(同配)」と記載し、併せて障害者の数を1人追加してください。(控除対象配偶者が障害者の場合は従来のとおり) 例) 木更津 花子(同配)													
生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		円		旧生命保険料の金額		円		介護医療保険料の金額		円		新個人年金保険料の金額		円		旧個人年金保険料の金額		円							
住宅借入金等特別控除の内訳		住宅借入金等特別控除適用数		円		住宅借入金等特別控除可能額		円		住宅借入金等特別控除区分(1回目)		年 月 日		住宅借入金等特別控除区分(2回目)		年 月 日		住宅借入金等年末残高(1回目)		円							
		a				b						c															
(源泉・特別)控除対象配偶者 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号										配偶者の合計所得 国民年金保険料等の金額 円 基礎控除の額 円 旧長期損害保険料の金額 円 所得金額調整控除額 円																	
控除対象扶養親族 1 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 2 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 3 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 4 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号										16歳未満の扶養親族 1 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 2 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 3 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号 4 (フリガナ) 氏名 区分 個人番号										5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号 6 5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号 7							
未成年者		外国人		死亡退職		災害者		乙欄		本人が障害者		募		ひとり親		勤労学生		中途就・退職									
										特別		その他		婦				就職		退職		年					
支払者		個人番号又は法人番号 住所(居所)又は所在地 氏名又は名称										(右詰で記載してください) ◆その他摘要欄に記載が必要な事項 <普通徴収希望の場合> 「例外として普通徴収が認められる場合」に該当する場合のみ摘要欄に該当符号(A~F)を記載(裏面参照) <前職を含んでいる場合> ①所在地及び事業所名 ②支払額 ③社会保険料の金額 ④源泉徴収税額 ⑤退職年月日 <青色事業専従者の場合> 「青専」等その旨を記入 (電話)															
		10																									

# 令和5年度給与支払報告書の記載方法

記載欄名	記載内容						
①「支払を受ける者」の「個人番号」	給与の支払を受ける方の個人番号を記載します。						
②「(源泉・特別)控除対象配偶者」の各欄	配偶者控除及び配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及び個人番号を記載します。 また、各控除の対象となる配偶者が非居住者である場合には、区分の欄に「○」と記載します。 ※非居住者とは、国内に住所を有しない者で、かつ、引続き1年以上国内に居住しない者をいいます。						
③「控除対象扶養親族」の各欄	扶養控除の対象となる扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号を記載します。また、控除対象扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に「○」と記載します。						
④「16歳未満の扶養親族」の各欄	16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号を記載します。また、16歳未満の扶養親族が非居住者である場合には、区分の欄に「○」と記載します。						
⑤(源泉)控除対象配偶者の有無等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">有</td> <td>主たる給与等において、支払を受ける方が年末調整の適用を受けている場合、控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">従有</td> <td>なお、年末調整の適用を受けていない場合は、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">老人</td> <td>従たる給与等において、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。 控除対象配偶者が老人控除対象配偶者である場合に「○」と記載します。</td> </tr> </table>	有	主たる給与等において、支払を受ける方が年末調整の適用を受けている場合、控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。	従有	なお、年末調整の適用を受けていない場合は、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。	老人	従たる給与等において、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。 控除対象配偶者が老人控除対象配偶者である場合に「○」と記載します。
有	主たる給与等において、支払を受ける方が年末調整の適用を受けている場合、控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。						
従有	なお、年末調整の適用を受けていない場合は、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。						
老人	従たる給与等において、源泉控除対象配偶者を有するときに「○」と記載します。 控除対象配偶者が老人控除対象配偶者である場合に「○」と記載します。						
⑥「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」の欄	控除対象扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の個人番号を記載します。この場合、個人番号の前には「摘要」の欄において氏名の前に記載した括弧書きの数字を付し、「摘要」の欄に記載した氏名との対応関係が分かるようにしてください。						
⑦「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄	16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の個人番号を記載します。 この場合、個人番号の前には「摘要」の欄において氏名の前に記載した括弧書きの数字を付し、「摘要」の欄に記載した氏名との対応関係が分かるようにしてください。						
⑧非居住者である親族の数	配偶者控除の対象となる配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者、扶養控除の対象となる扶養親族及び16歳未満の扶養親族のうち、非居住者の方がいる場合には、その人数を記載します。						
⑨配偶者(特別)控除の額	給与の支払を受ける方及びその控除対象となる配偶者の合計所得金額に対応した、配偶者控除又は配偶者特別控除の額を記載します。						
⑩「支払者」の「個人番号又は法人番号」の欄	給与等の支払をする方の個人番号又は法人番号を記載します。なお、個人番号を記載する場合は左端を空白にし、右詰めで記載してください。						
㉑住宅借入金等特別控除適用数	年末調整の際に住宅借入金等特別控除の適用がある場合、当該控除の適用数を記載します。 なお、適用数が3以上のときには、摘要の欄に3回目以降の住宅借入金等特別控除区分、居住開始年月日及び住宅借入金等年末残高を記載します。						
㉒居住開始年月日(1回目、2回目)	居住開始年月日は、和暦で年、月、日を分けて記載します。 (例)令和元年11月8日の場合は、年:「1」、月:「11」、日:「8」と記載します。						
㉓住宅借入金等特別控除区分(1回目、2回目)	適用を受けている住宅借入金等特別控除の区分を次のように記載します。 また、当該住宅の取得や増改築が <b>特定取得</b> に該当する場合には、「(特)」を、 <b>特別特定取得</b> に該当する場合には、「(特特)」を、 <b>特例特別特定取得</b> に該当する場合には、「(特特特)」を付記します。 住…一般の住宅借入金等特別控除の場合(増改築を含みます。) (例:一般の住宅借入金等特別控除で特定取得の場合…「住(特)」と記載) 認…認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合 増…特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合 震…東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することができなくなった場合で、平成23年から令和3年12月31日までの間に新築や購入、増改築をした家屋に係る住宅借入金等について、震災特例法第13条の2第1項「住宅の再取得等に係る住宅借入金等特別控除」の規定の適用を選択した場合						
摘要欄について	<p>1 控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族の氏名を記載します。この場合、氏名の前には括弧書きの数字を付し、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」及び「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄に記載する個人番号との対応関係が分かるようにしてください。 また、この欄に記載される控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が次に該当する場合には、それぞれ次の内容を付記します。</p> <p>(1) 16歳未満の扶養親族の場合…氏名の後に「(年少)」と付記します。 (2) 控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が非居住者の場合…氏名の後に「(非居住者)」と付記します。 ※それぞれの個人番号については、この欄に記載せず、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」(⑥)又は「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄(⑦)に記載してください。</p> <p>2 <b>同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合</b>、当該同一生計配偶者の氏名及び氏名の後に「(同配)」を付記し、併せて「障害者の数」欄に人数を追記します。 (※控除対象配偶者が障害者の場合は従来のとおり)</p> <p>3 年の途中で就職した方について、その就職前に他の支払者が支払った給与等を通算して年末調整を行った場合には、(イ)他の支払者が支払った給与等の金額、徴収した所得税及び復興特別所得税の合計額、給与等から控除した社会保険料の金額、(ロ)他の支払者の住所(居所)又は所在地、氏名又は名称、(ハ)他の支払者のもとを退職した年月日を記載します。</p> <p>4 「賃金の支払の確保等に関する法律」第7条の規定に基づき未払給与等の弁済を受けた退職労働者は、同条の規定により弁済を受けた旨及びその弁済を受けた金額を記載します。</p> <p>5 災害により被害を受けたため給与所得に対する源泉所得税及び復興特別所得税の徴収の猶予を受けた場合には、「災害者」欄に○を付すとともに、徴収猶予税額を記載します。</p> <p>6 租税条約に基づいて源泉所得税額の免除を受ける方については、「○○条約○○条該当」と赤書きします。</p>						

⑤ 給与支払報告書（個人別明細書）

※			※種 別			※整理番号			※						
<b>記載例</b>															
住所 千葉県木更津市朝日3丁目10番19号					(受給者番号)			00001							
					(個人番号)			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
					(役職名)			主任							
支 払 者 を 受 け る	住 所	千葉県木更津市朝日3丁目10番19号			氏 名		(フリガナ)		キサラツ ハジメ						
					木更津 一										
種 別		支 払 金 額			給与所得控除後の金額 (調整控除後)			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額				
給料・賞与		9 000 000			7 000 000			5 760 000			0				
(源泉)控除対象配偶者 の有無等		配偶者(特別) 控 除 の 額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)				16歳未満 扶養親族 の数		障 害 者 の 数 (本人を除く。)		非居住者 である 親族の数			
有		従有		特 定		老 人		そ の 他		特 別		そ の 他			
○		380 000		1		1 1		4		5		2			
社会保険料等の金額			生命保険料の控除額			地震保険料の控除額			住宅借入金等特別控除の額						
内 千 円			千 円			千 円			千 円						
2,000 000			120 000			50 000			62 000						
(摘要)															
(1)木更津 十真 (2)木更津 百花(非居住) (3)木更津 千尋(年少)															
前職: 千葉県木更津市潮見1丁目1番 有限会社 きさらづ 令和4年3月31日 退職															
支払金額 1,200,000円 徴収税額 20,000円 社会保険料 150,000円															
生命保険料 の金額の内訳		新生命保険料 の金額		旧生命保険料 の金額		介護医療保 険料の金額		新個人年金 保険料の金額		旧個人年金 保険料の金額					
		180,000		100,000		90,000		360,000		180,000					
住宅借入金 等特別控除 の額の内訳		住宅借入金等 特別控除適用数		居住開始年月日 (1回目)		住宅借入金等特別 控除区分(1回目)		住		住宅借入金等 年末残高(1回目)		11,500,000			
		住宅借入金等 特別控除可能額		居住開始年月日 (2回目)		住宅借入金等特別 控除区分(2回目)		住(特)		住宅借入金等 年末残高(2回目)		9,000,000			
		2		26 年 1 月 10 日											
		200,000		29 年 8 月 20 日											
(源泉・特別 控除対象 配偶者	(フリガナ)		キサラツ フタコ			区分		配偶者の 合計所得		国民年金保険 料等の金額		旧長期損害 保険料の金額			
	氏名		木更津 二子			円				176,460		19,600			
	個人番号		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			0		基礎控除の額		所得金額 調整控除額					
										50,000					
控 除 対 象 扶 養 親 族	1	(フリガナ)		キサラツ ミツオ			区分		(フリガナ)		キサラツ ナナミ			5人目以降の控除対象 扶養親族の個人番号	
		氏名		木更津 三男			○		氏名		木更津 七海				
	2	(フリガナ)		キサラツ ヨツハ			区分		(フリガナ)		キサラツ ヤエ			(1)	
		氏名		木更津 四葉					氏名		木更津 八重			101010101010	
	3	(フリガナ)		キサラツ ゴロウ			区分		(フリガナ)		キサラツ ツクモ			(2)	
		氏名		木更津 五郎					氏名		木更津 九十九			100100100100	
	4	(フリガナ)		キサラツ ムツミ			区分		(フリガナ)		キサラツ レイジ			(3)	
		氏名		木更津 六実					氏名		木更津 零仁			100010001000	
未 成 年 者	外 国 人	死 亡 退 職	災 害 者	乙 欄	本人が障害者		寡 婦	ひ と り 親	勤 労 学 生	中途就・退職			受給者生年月日		
					特 別 其 他					就 職 退 職 年 月 日			元 号 年 月 日		
										○ 4 4 1			昭和 41 1 1		
支 払 者	個人番号又は 法人番号		1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (右詰で記載してください。)												
	住所(居所) 又は所在地		千葉県木更津市富士見1丁目2番1号												
	氏名又は名称		株式会社 きさらづ (電話) 0438-XX-XXXX												

## 普通徴収切替理由書（兼仕切書）

市区町村名	<b>木更津市</b>	指定番号	<b>000XXXXXXXX</b>
事業者名	<b>株式会社 きさらづ屋</b>	総括表右欄、「報告人員」の「普通徴収対象者（退職者を除く）」欄に <b>普A～普Eの合計</b> を記入してください。	

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総受給者が2名以下 <small>（下記「普B」から「普F」に該当する全ての（他市区町村分を含む）従業員数を差し引いた人数）</small>	
普B	他の事業所で特別徴収されている(例: 乙欄適用者)	2
普C	給与が少なく税額が引けない(年間の給与支給額が93万円以下)	4
普D	給与の支払が不定期(例: 給与の支払が毎月でない)	1
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	
普F	退職者又は退職予定者(5月31日まで)及び休職者	3
<b>合計</b>		<b>10</b>

(備考) eLTAX又は光ディスク等をご利用の場合は、この普通徴収切替理由書の提出は必要ありませんが、該当する方の個人別明細書へ入力の際、「普通徴収」欄にチェックを入れたうえ、摘要欄に該当する符号を必ず入力してください。

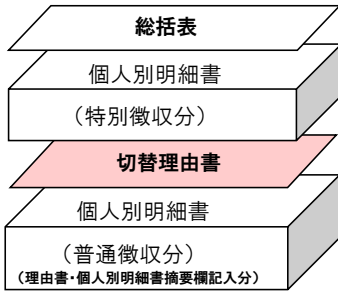
個人別明細書の摘要欄にも符号(普A～普F)を記入してください。

総括表右欄、「報告人員」の「普通徴収対象者(退職者)」欄に**普Fのみ**の人数を記入してください。

### ＜普通徴収切替理由書の留意点＞

- ①普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。切替理由書の提出がない、摘要欄に記入がない場合は**原則どおり、特別徴収対象者となります。**
- ②この切替理由書は、普通徴収対象者(特別徴収できない方)の個人別明細書の上につけて提出してください。(下図左を参照)  
※全員を特別徴収とする場合は提出不要です。
- ③総括表の報告人員中、特別徴収以外の人数と切替理由書の普通徴収合計人数が一致すること、および個人別明細書の摘要欄に符号の記入があることを必ずご確認ください。
- ④普A欄の人数は他市区町村に在住する従業員も含めた総従業員数から普通徴収該当者を除いた人数が2名以下の場合について、そのうち本市に在住される方の人数を記入してください。
- ⑤普A～普F以外が理由の普通徴収は認められません。(例: 個人の希望)
- ⑥本表と同一の項目が記入されていれば、任意の様式での提出でも構いません。
- ⑦一人につき、複数の理由がある場合は、主な理由をひとつのみ記入してください。

#### ＜提出時の綴り方＞



#### ＜給与支払報告書個人別明細書 抜粋＞

種別	支払金額	給与所得控除後の金額 (調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給料・賞与	円	円	円	円
(源泉徴収対象配偶者の有無等)	配 偶 者 ( 特 別 ) 控 除 の 額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く)		
		16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く)	
有 従 有		特 定 人 従 人	老 人 人 従 人	其 他 人 従 人
		特 別 人 内	其 他 人 内	非居住者 である 親族の数
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
内	円	円	円	円
(摘要)				
<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>普F</b> </div> ← 該当する符号を必ず記入してください。 ※退職予定者は退職予定日を「中途就・退職」欄に記入してください。				